



NEWS RELEASE

2012年8月1日

各位

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 TSUTAYA カンパニー
株式会社ニッポン放送
株式会社リンダパブリッシャーズ

第1回 日本エンタメ小説大賞 開催決定！

～ヒット映画のプロデューサーに「映画化したい」と思わせる“原作小説”の文学賞開催～

TSUTAYA カンパニー、株式会社ニッポン放送、株式会社リンダパブリッシャーズ(50音順)の3社は第1回「日本エンタメ小説大賞」の募集を8月1日より開始します。

「日本エンタメ小説大賞」とはこれまでになかった“映画化”を念頭においた新しい文学賞です。

次々に生み出されるヒット映画。それらのほとんどには必ずといっていいほど、素晴らしい原作小説や原作コミックがあります。このたび創設された「日本エンタメ小説大賞」は、ヒット映画を作り出しているプロデューサーたちに“この作品を映画化したい！”と唸らせるような小説を募集します。

この文学賞は、圧倒的な面白さやアイデア、予想を超えたストーリー展開で感動を与える「映画の原作小説」を生み出す、新しい書き手を発掘することを目的にしています。なお、毎年、旬の映画プロデューサーが「審査委員長」として審査にあたり、第1回は石田雄治氏が審査委員長を務めます。

【第1回『日本エンタメ小説大賞』応募概要】(詳細は <http://nihonentame.jp/>)

応募資格:「プロの小説家」を目指している方ならどなたでも応募できます。

作品のジャンル:ミステリー・SF・恋愛・ホラー・ライトノベルなど、応募のジャンルは問いません。ただし、「映画の原作になること」を意識したエンタテインメント性の高い作品を求めています。

募集開始:2012年8月1日 募集締切:2013年2月28日(消印有効)

結果発表:2013年8月1日

審査委員:第1回目は映画プロデューサー・石田雄治氏が審査委員長を務めます。石田雄治氏は『八日目の蝉』(2011)『告白』(2010)と二年連続で日本アカデミー賞最優秀作品賞受賞作をプロデュースするなど、今日本で最も注目されている映画プロデューサーの一人です。その他主催3社より各1名が審査委員として選考にあたります。

受賞: 大賞1作品を選出します。

副賞: 大賞受賞者には副賞として賞金20万円を贈ります。

出版: 大賞作品はリンダパブリッシャーズより出版されます。

主催者: 日本エンタメ小説大賞実行委員会

応募先: 〒106-0044 東京都港区東麻布1-8-4 日本エンタメ小説大賞事務局

【共同主催】(*50音順)

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 TSUTAYA カンパニー 東京都渋谷区南平台町16番17号渋谷ガーデンタワー6階

株式会社ニッポン放送 東京都千代田区有楽町1丁目9番3号

株式会社リンダパブリッシャーズ 東京都港区東麻布1-8-4

本件に関する報道関係のお問い合わせ先:

日本エンタメ小説大賞事務局(株式会社リンダパブリッシャーズ内) 担当:小谷 Tel:03-3568-7974